

| 科目名 | | 単位数 | 担当教員 | 区分 |
|--|---------|-----|-------|------------------------|
| 平成26年度以降 | スポーツ社会学 | 2 | 西川 誠太 | |
| 平成25年度以前 | スポーツ社会学 | 2 | | |
| 教職 | | | | 教職 |
| 授業の到達目標及びテーマ スポーツを取り巻く様々な社会問題を解析し、現代社会を読み解く方法について理解を深めることを目標とする。 | | | | 言語 共通 |
| 授業の概要 スポーツ社会学とはスポーツと社会の関係性を明らかにし、社会現象としてのスポーツを鏡として、社会のあり方を見極める学問である。現代社会において、スポーツの果たす役割は益々重要なものになってきている。その構成要素である様々なトピックスを読み解きながら講義を展開していく。特にオリンピック、ワールドカップサッカーといったメガイベントを中心に、スポーツの歴史的発展や社会との関係性について考察していく | | | | 専門基礎 法律一般 |
| 授業計画 第1回:ガイダンス 第2回:「体育」と「スポーツ」 第3回:「アマチュア」スポーツと「プロ」スポーツ 第4回:オリンピック①:アマチュアリズム 第5回:オリンピック②:スポーツと商業主義 第6回:オリンピック③:コマーシャル・ゲーム 第7回:オリンピック④:パワー・ゲーム 第8回:近代スポーツの誕生:儀礼・儀式・遊びからスポーツへ 第9回:「ベースボール」と「野球」:日本のスポーツ観 第10回:現代社会とスポーツ①:国際社会とスポーツ 第11回:現代社会とスポーツ②:福祉社会とスポーツ 第12回:現代社会とスポーツ③:スポーツのグローバリゼーション① 第13回:現代社会とスポーツ④:スポーツのグローバリゼーション② 第14回:現代社会とスポーツ⑤:スポーツマンシップを考える 第15回:まとめ 【履修上の注意事項】 毎回コメントシートの提出をもって出席とする。 | | | | 政治行政 経営法務 スポーツ福祉 |
| テキスト | | | | 25年度以前 専門基礎科目 |
| 参考書・参考資料等 多木浩二, 1995, 『スポーツを考える』, 筑摩書房. 井上俊・亀山佳明編, 1999, 『スポーツ文化を学ぶ人のために』, 世界思想社. 佐伯年詩雄, 2006, 『現代スポーツを読む』, 世界思想社. | | | | |
| 学生に対する評価 定期試験, コメントシートの内容, 授業への貢献度を総合して評価する。 | | | | |